

News

インターンシップ修了者の就職始まる！！

企業にてインターンシップを受け入れて頂き、研究開発を進めてきた皆さんから 3 か月間の成果を発表頂きました。その取組評価により、10 月 1 日から 4 名がインターンシップ先企業へ新入社員として採用されました。



インターンシップ成果発表会

目次

1. News
2. 活動成果と計画
3. 目標達成進捗
4. ポスドク紹介
5. センター・メモ

活動成果

- **センター会議 (7/27、8/23、10/04)**
平成 26 年度のポストドクター公募要項、企業懇談会参加計画、博士キャリア開発シンポジウムの開催計画などが審議され、より多くの応募や参加を促すことが決議されました。
- **企業懇談会 (8/28)**
より多くの企業様に活動の趣旨や内容をご理解いただけるように今年も全会合での説明をさせて頂きました。また、企業の皆様と懇談させて頂きました。
- **平成 26 年度 PD 選抜面接 (9/25)**
8/1 から公募を行い、多くの応募者の中から選抜するために企業委員 2 名に出席いただき PD 選抜のための面接会を行いました。企業での活躍が期待される優秀な人材を選抜致しましたのでご期待ください。
- **運営委員会 (10/4)**
平成 26 年度ポストドクター・キャリア開発事業養成者の採用について審議され、選抜委員会から提案のあった 4 名を採用することが決定されました。

活動計画

- ◆ **センター会議 (10/25、11/22、12/20)**
平成 26 年度の講義計画、カリキュラム内容、講師陣などを審議する予定です。
- ◆ **中間審査会 (10 月 29 日)**
文部科学省と外部委員による本事業の実施状況の審査が行われます。目標に対する達成度と、本事業終了後の定着化への取組みが評価される見込みです。
- ◆ **博士キャリアパス開発シンポジウム (11/18)**
事業開始から 3 年目を迎えようやく軌道に乗ってきたところでもあり、多くの皆様への一層のご理解を頂くためにシンポジウム開催を計画しています。(センターmemo をご参照ください)
- ◆ **平成 26 年度 PD2 次募集 (12/2~1/15)**
大学院博士課程後期の皆さんの博士論文作成のめどがつく時期を考慮し、平成 26 年度の本事業参加 PD の 2 次募集を予定しています。

目標達成進捗

目標と実績（平成 25 年 10 月 1 日現在）

区分		1 年目 (H23)	2 年目 (H24)	3 年目 (H25)	4 年目 (H26)	5 年目 (H27)
採用者	目標	6	6	6	6	6
	実績	3	7	6		
インターン シップ	目標	6	6	6	6	6
	実績	3	6	7		
就職者 (内定含む)	目標	3	4	5	6	6
	実績	3	5	4		
賛同企業 (累積数)	目標	(18)	(35)	50	(65)	80
	実績	36	65	77		



おかげさまで、本年度も事業は順調に推移しています。皆様のご協力に感謝致します。

ポストドク紹介

インターンシップを通じて就職

群馬大学に採用された本事業の PD の皆さんのうち 4 名の方が、企業でのインターンシップを経て 10 月 1 日付けで就職することができました。今まで培ってきた専門を実社会に活かすためには、大学院で学んだ事柄を更に高めなければならないことに加えて、幅広い視点も必要であることを実感したと口々に述べていました。自分を知り周りを知ることができた貴重な時間でした。これらを自覚した今だからこそ今後の活躍に期待が持てると思います。さらなる成長を！



センター・Memo

シンポジウム開催決定

企業の皆さんや研究機関・大学の教職員から学生まで幅広い方々を対象に、博士人材キャリアパス開発シンポジウムを開催いたします。社会を大きく変革し新たな価値を生み出すためには、優秀な博士人材を養成し、その人材の活躍する場を設ける必要があります。そのためには学生はもちろん大学教員の意識変革が必要です。加えて産業界を含めた社会全体の博士人材受け入れ体制づくり（理解）も重要な要素であると考えられます。本学高度人材育成センターは、このような背景のもと、シンポジウムを企画いたしました。多くの方々のご参加をお待ちしております。シンポジウム URL www.tech.gunma-u.ac.jp/PDI/01/2013/20131118_01.html

博士キャリアパス開発シンポジウム 2013

開催日時：平成 25 年 11 月 18 日

14:00~17:50

開催場所：群馬大学桐生キャンパス

大講義室

講演者：宮田 満 氏

(株式会社日経 BP 特命編集委員)

仲 勇治 氏

(独立行政法人科学技術振興機構 科学技術システム改革事業プログラム主管)